

「遠山郷学園会議」の設置と検討の経過

1 これまでの遠山2地区の教育に関する特徴的な取り組み

- | | | |
|---|--------|--|
| ア | 平成29年度 | ・上村小学校が小規模特認校に指定（H30年度から特認校児童の受入スタート）
・ユネスコスクールの検討開始
・農山村SDGs研究所（旧立教大学ESD研究所）との連携（地域住民学習会・教職員へのサポート開始） |
| イ | 令和3年度 | 遠山3校合同学校運営協議会が発足（毎年複数回開催） |
| ウ | 令和4年度 | 遠山郷二園三校グランドデザインの策定（R5年度に一部修正） |
| エ | 令和4年度 | 南信濃地区で「やまざと親子留学事業」始動（親子留学家族の受入スタート） |
| オ | 令和4年度 | （保育園の）ショート留学事業（保育園の短期体験事業）スタート |
| カ | 令和5年4月 | 上村保育園、和田保育園の合同保育開始 |
| キ | 令和7年2月 | 遠山三校ユネスコスクールの登録 |
- ※上記の他、遠山郷フォーラムの開催

○ポイント

これまでに遠山2地区では、園児・児童・生徒数の減少をいち早く見据え、それぞれの地区での取組と合わせ、保育園から中学校までの12か年の子ども像を共有する「二園三校のグランドデザイン」を定めてきている。

※学校のあり方に関しては、教育委員会での議論よりも早く課題認識を持ち進めてきている。

2 遠山郷における学校のあり方に関する検討

令和5年10月に市教育委員会より「学園構想」について説明を2地区まちづくり委員会が受け、令和6年1月に検討組織「遠山郷学園会議」を設置。

(1) 遠山郷学園会議の主な活動

- ①飯田市教育委員会が目指す「遠山郷学園」の特色と魅力ある教育活動について
「遠山郷二園三校グランドデザイン」を踏まえた教育内容、教育課程及び具体的な特設カリキュラム研究
- ②遠山地区の小中学校のこれからの配置・枠組みについて
- ③遠山郷学園と学校運営協議会、コミュニティスクールのあり方について
- ④遠山地区の園児、児童及び生徒数の確保を目的とする「教育移住の推進」について

(2) 学校関係団体との連携・検討事項

- (ア) 遠山郷学園会議での優先検討内容 ⇨ 「遠山地区の小中学校のこれからの配置・枠組みについて」
- (イ) その他の検討事項
 - a 学校運営協議会での検討事項
 - (a) 「遠山郷学園」の特色と魅力ある教育活動（教育課程及び具体的な特設カリキュラム研究）
 - (b) 遠山郷学園と学校運営協議会、コミュニティスクールのあり方について
 - b まちづくり委員会での検討事項、取り組み内容
 - (a) 遠山地区の園児、児童及び生徒数の確保を目的とする「教育移住の推進」について

(3) 令和6年度の遠山郷学園会議の検討目標

- ア R6年6月 「遠山郷学園」構想の確認（地域協議会へ諮問の場合は答申）
- イ R6年上半期 遠山中学校の小規模特認校指定の方針確認

ウ R6 年度中 遠山地区小中学校 3 校の配置・枠組みについて方針決定

エ R7 年 4 月 遠山中学校の小規模特認校制度スタート

・現段階で、令和 7 年 4 月から遠山中学校の小規模特認校の指定まで行われた。

・今後、「子供たちを真ん中において、子供たちにとってよりよい学びの環境」をどの様に行っていくかといった点に関し、保護者の皆さんと意見交換を行いながら進めていく。

(4) これまでの遠山郷学園会議等の開催経過

ア 令和 6 年 1 月 29 日 第 1 回遠山郷学園会議（小委員会）開催

※小委員会のメンバーは、まちづくり副会長、公民館長、3 校保護者代表、若年層代表等 9 名。

イ 令和 6 年 4 月 25 日 第 2 回遠山郷学園会議（小委員会）開催

ウ 令和 6 年 5 月 31 日 第 3 回遠山郷学園会議（小委員会）開催

エ 令和 6 年 6 月 10 日 第 1 回遠山郷学園会議（全体会）開催

※全体会のメンバーは小委員会委員、3 校校長、地域協議会会長、教育関連団体代表等 23 名。

正副委員長の指名、組織活動の方向性の決定、大町市の取組の学習

オ 令和 6 年 8 月 28 日 第 2 回遠山郷学園会議（全体会）開催

※第 1 回の振り返り、これまでの経過報告、学校の配置枠組みを今後の検討課題とすることの確認

今後の検討に当たっては、それぞれの課題に対する関係者による部会で検討

カ 令和 6 年 10 月 10 日 第 1 回遠山郷学園会議（総務部会）開催

※総務部会のメンバーは、まちづくり正副会長、公民館長、3 校校長等 9 名。

特認校指定に関する検討、三校の施設形態の検討、遠山郷フォーラム検討

キ 令和 6 年 11 月 6 日 八坂小中学校視察

※施設分離型の義務教育学校の取組視察。山村留学センターの視察

ク 令和 6 年 11 月 30 日 遠山郷フォーラム

※2 園 3 校ランドデザインに基づく各学校の取組の発表、意見交換の実施。

ケ 令和 7 年 1 月 28 日 遠山郷学園会議正副委員長・まちづくり会長・公民館長会議

※配置・枠組みに関し、二地区それぞれで子育て世代との意見交換を行う方向性を確認。

コ 令和 7 年 3 月 27 日 遠山郷学園会議正副委員長・まちづくり会長・公民館長会議

※配置・枠組みに関する検討。2 地区の方針(案)協議。

サ 令和 7 年 4 月 24 日 遠山郷学園会議全体会議

※配置・枠組みに関する検討経過及び 2 地区の方針(案)報告

(5) 保護者等との懇談経過

ア 令和 6 年 4 月～ 遠山 3 校の各 PTA 総会で「遠山郷学園会議」の取組説明

イ 令和 6 年 4 月～5 月 遠山 3 校各校学校運営協議会で「遠山郷学園会議」の取組説明

ウ 令和 6 年 5 月 17 日 遠山 3 校合同学校運営協議会で「遠山郷学園会議」の取組説明

エ 令和 6 年 5 月 25 日 遠山 3 校保護者懇談会で「学園構想」について意見交換

オ 令和 6 年 7 月 30 日 和田小学校保護者との意見交換会

カ 令和 6 年 8 月 27 日 遠山郷学園会議玉置委員長学校訪問（遠山中・和田小）

キ 令和 6 年 11 月 1 日 3 校保護者懇談会（2 拠点とオンラインとのハイブリッド懇談）

ク 令和 7 年 2 月 17 日 南信濃地区子育て世代意見交換会

※配置枠組みに関する意見交換

ケ 令和 7 年 2 月 19 日～上村地区保護者に「学園構想」に関するアンケート実施

コ 令和7年4月18日 和田小学校PTA説明・上村小学校PTA説明

※配置・枠組みに関する方針（案）について説明

サ 令和7年4月28日 遠山中学校PTA説明

※配置・枠組みに関する方針（案）について説明

(6) まちづくり委員会 ※配置・枠組みにおける検討のみ記載。学園会議に関する事項は随時報告

ア 令和7年2月18日 上村まちづくり委員会定例会にて経過報告及び方針案を検討

イ 令和7年3月25日 南信濃まちづくり委員会定例会にて経過報告

ウ 令和7年4月15日 南信濃まちづくり委員会定例会にて要望書の内容検討

エ 令和7年4月18日 上村まちづくり委員会定例会にて要望書の内容検討

オ 令和7年4月25日 上村まちづくり委員会総会にて、要望書を提出することに関し報告

カ 令和7年4月30日 南信濃まちづくり委員会総会にて、要望書を提出することに関し議決

(7) 地域協議会、教育に関する地域団体との懇談経過

ア 令和6年5月2日 上村地域協議会で「学園構想」についての勉強会を開催

イ 令和6年5月7日 南信濃地域協議会で「学園構想」についての勉強会を開催

ウ 令和6年6月 上村（19日）・南信濃地域協議会（27日）にてあり方に関し意見を付し回答

※意見概要：学園構想を令和7年4月から開始すること、遠山中における小規模特認校の実施について

エ 令和6年7月19日 南信濃地区「市長と語るまちづくり懇談会」

オ 令和6年8月20日 上村地区「市長と語るまちづくり懇談会」

カ 令和7年3月21日 臨時学校運営協議会開催（和田小・遠山中のうち南信濃関係者委員と意見交換）

キ 令和7年3月24日 南信濃1500委員会メンバーとの意見交換

ク 令和7年4月25日 上村小・和田小学校学校運営協議会説明

ケ 令和7年5月2日 遠山中学校学校運営協議会説明

コ 令和7年5月2日（予定） 上村・南信濃地域協議会

※両地区まちづくり委員会が飯田市及び飯田市教育委員会へ要望をすることに関し審議予定。

(8) 小中学校関係との協議

ア 令和7年4月3日 遠山三校校長会へ配置・枠組みの検討結果の説明

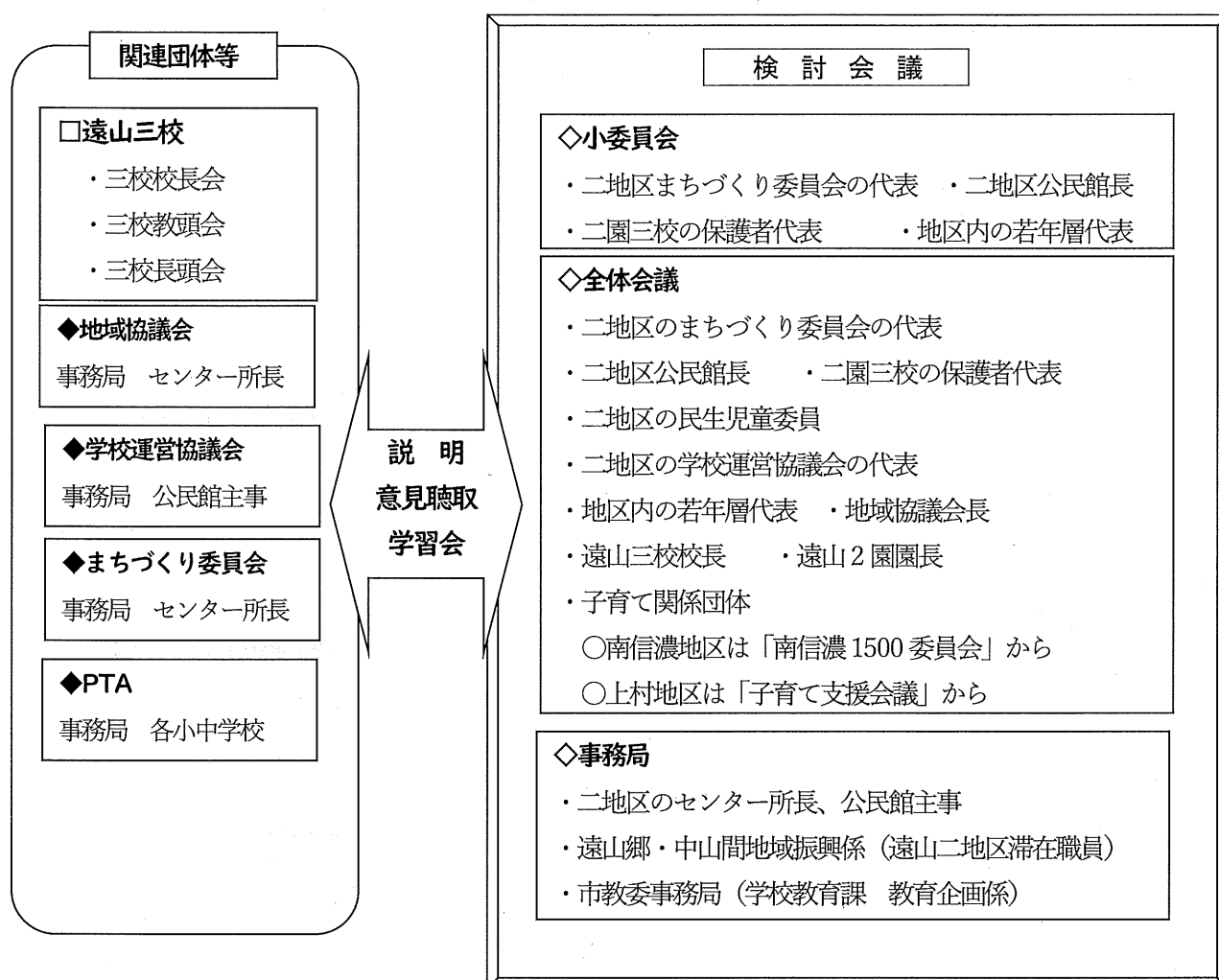
イ 令和7年4月8日 遠山三校校長会へ配置・枠組みの検討結果の説明

ウ 令和7年4月18日 遠山郷学園校長会へ要望書（案）について説明（教職員の要望含む）

3 その他（今後の地域対応・遠山郷学園会議組織体制）

飯田市・飯田市教育委員会への要望書提出後に、学園通信を地区内へ配布。（5/8 南信濃、5/15 上村）

検討組織体制図



○ 遠山郷学園会議全体会議と小委員会の役割について

- (ア) 遠山郷学園会議の小委員会は、検討事項を多様な視点で調査、研究（視察等）及び検討する。
- (イ) 遠山郷学園会議の全体会議は、小委員会での検討内容を多様な立場の委員により議論を深め検討する。
- (ウ) 遠山郷学園会議の検討事項は、方針を決定する場合は、最終的にはまちづくり委員会で検討し決定する。
- (エ) 検討事項の方針を決定する場合には、関連する団体等との意見聴取や懇談を積極的に行う。

※特記事項

当初は小委員会としていたが、第2回全体会議において、課題が多岐にわたることから課題ごとにメンバーを選出し議論していくことを確認。